

JA Clinical Reports (JACR)のカテゴリー追加と名称の変更のお知らせ

学術委員会機関誌専門部会長
JA Clinical Reports 編集長
廣田和美

2015年にJournal of Anesthesia (JA)に次ぐ機関誌として、JA Clinical Reports (JACR)が創刊されました。この度、そのJACRの掲載論文のカテゴリーの見直しを行い改変致しましたので御報告致します。

当初は、Case Reports、Clinical Research Letters、Letters to the Editorの3つのカテゴリーでしたが、PubMed掲載のために質の向上が求められたことから、機関誌専門部会で話し合い、Clinical Research LettersをOriginal articles (Clinical investigation)に昇格させ、さらにはClinical review articlesのカテゴリーも作ることで、臨床麻酔科学に関するあらゆるタイプの論文を掲載できるジャーナルとしました。本誌の最大の特徴である、学会員であれば投稿料が無料のOpen Journalであることは維持されております。

Impact factorの上昇を目指すJAでの症例報告の採用が5%を切っており、「折角書いても殆んどが掲載されない」という状態を改善する目的でJACRは創刊されましたが、それ以外にもJAでは掲載が難しいレベルのOriginal articlesやClinical review articlesも掲載できる場を提供することで、現在以上にJACRを若手麻酔科医の英文論文作成の登竜門として御活用頂けると期待しております。

勿論、JAにまず挑戦して貰っても良いです。例えJAでRejectになっても、JAの各Section EditorがJACRへTransferする場合がありますので、その際には是非ともJACRへの再投稿を考慮下さい。また、直接JACRへの投稿も大歓迎です。論文は採用されますと、数編集まる毎にネット配信されており、Google Scholar等のネット検索でも閲覧可能です。また、PubMed側から連絡はなかったものの最近になってPubMedへも掲載されていることが確認されました。

尚、昨年後半からJACRの認知度がJSA会員間で上がってきたためか、投稿数も月10編を常に超すペースとなってきました。年間のSpringer Nature社とJSAでの契約論文数は80編のため、単純計算でも50編以上オーバーとなります。つまり、Accept率を現状の80%から50~60%程度に抑制する必要が出てきました。ついては、どこが新しい内容なのかを論文中にきちんと明記して頂き、査読者にアピールをお願いします。

JACR読者にとっても有意義なJournalに育てていきたいと思っていますので、皆様の活発な投稿ならびに御協力を御願い申し上げます。